

東日本研修センタ公開講座の実施について

1. はじめに

総務省主催の平成28年度「第32回情報通信月間（5月15日～6月15日）」に合わせて、ブロードバンドサービスを支える情報通信設備の紹介として、情報通信設備の概要説明と光ファイバ接続等の体験等が出来る公開講座を実施しました。

2. 実施概要

(1) 講座名 「ブロードバンドサービスを支える情報通信設備の紹介」

(2) 実施日 平成28年6月3日（金）

(3) 参加者数 12名 (写真1)

(4) 内容

i. 情報通信設備の概要について (写真2,3)

ブロードバンドサービスを支える情報通信設備の概要について、研修設備等を使って紹介しました。また、研修現場も紹介しました。

ii. 光ファイバ接続体験 (写真4)

光ファイバの接続を体験して頂きました。

iii. 安全への取組紹介

情報通信エンジニアリング協会での「安全への取り組み例」として、以下の内容を紹介しました。

○マンホール内入孔前の酸素欠乏測定及び入孔体験 (写真5)

○高所作業車の搭乗体験 (写真6)

3. 実施状況

公開講座の様態を写真でご紹介します。



写真1 開講模様



写真2 情報通信設備の紹介



写真3 研修現場見学



写真4 光ファイバ接続の体験



写真5. マンホール入孔前の酸素欠乏測定及び入孔体験



写真6. 高所作業車の搭乗体験

4. 参加者の主な感想

- ・情報通信設備の概要説明で、実習室を観る事が出来て、工具測定器類が整理整頓が確りできが来ており、実習の前の基本が徹底していると感じた。
- ・光ファイバ接続では、細かい作業で不慣れであったが、研修センタ技術者の指導もと、自らの手で接続に成功し達成感を得た。
- ・何気なくマンホール蓋であるが、入孔すると通信ケーブル及び接続点並びに管路(穴)がある広い空間を知った。
- ・マンホール内入孔前の酸素濃度チェック、高所作業車への搭乗時の安全帯装着等、各種安全に対する取組みを実施している事を知った。
- ・平日午後の開催で参加しやすかった。

5. おわりに

参加者に見学・体験を通じて、ブロードバンドサービスを支える情報通信設備について、理解を頂くと共に安全に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みについてPRが出来た。